

金属カンパニー



金属カンパニー プレジデント

瀬戸 憲治



左から

金属資源部門長	猪股 淳
金属カンパニーCFO	佐藤 一嘉
金属経営企画部長	田野 治
鉄鋼製品事業室長	村山 正克

事業分野

- 金属・鉱物資源開発(鉄鉱石、石炭、非鉄金属・レアメタル等)
- 原料・燃料・製品トレード(鉄鉱石、製鉄資源、石炭、ウラン、アルミニウム、非鉄原料・製品等)、リサイクルビジネス(金属スクラップ・廃棄物処理等)
- 脱炭素関連ビジネス(水素・アンモニア、CCUS(CO₂回収・有効利用・貯留)、排出権取引等)
- 鉄鋼関連ビジネス(鉄鋼製品の輸出入、三国間取引、加工等)

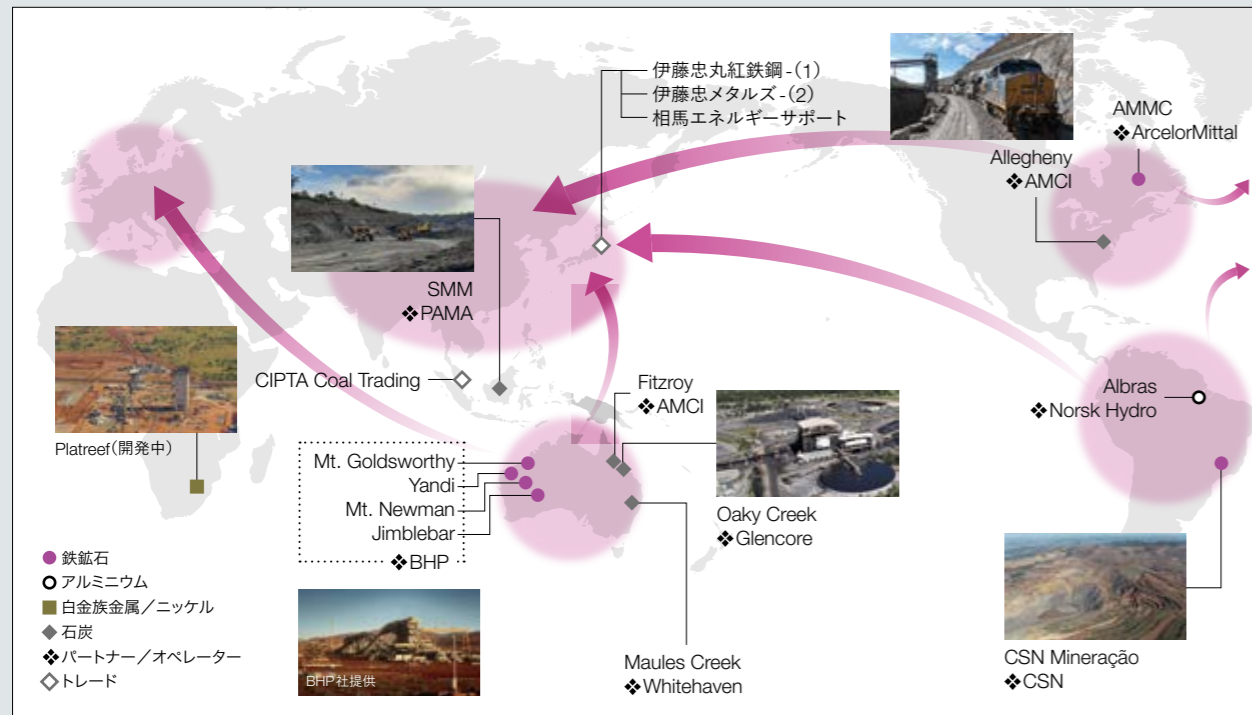
カンパニーの強み

- 各事業分野における優良パートナーとの強固な関係
- 鉄鉱石、原料炭を中心とした優良資源資産の保有
- 上流(金属・鉱物資源、金属原料)から下流(鉄鋼・非鉄製品)にわたる幅広いトレードフロー

事業展開 ※定量データは、▶ Page 126~133をご参照ください。

国内事業損益割合(イメージ)

10%



(1) 伊藤忠丸紅鉄鋼

- 世界全域にビジネス基盤を有する鉄鋼流通ビジネス専門商社
- 鉄鋼製品等の輸出入及び販売、加工、サプライチェーンマネジメント、鉄鋼関連業界への投資等、高付加価値サービスを提供



(2) 伊藤忠メタルズ

- 原料供給から資源の再利用まで、世界的ネットワークを有する非鉄金属・リサイクル専門商社
- 原料供給、製品流通及び循環型社会の構築に寄与する総合リサイクル事業を積極的に推進



主要子会社・関連会社の一覧は当社ウェブサイトをご参照ください。

https://www.itochu.co.jp/ja/files/ar2023j_12.pdf



「SDGs」への貢献・取組強化の具体例

カナダ鉄鉱石事業(AMMC) 権益を取得

当社は、ITOCHU Minerals & Energy of Australia社を通じて、鉄鋼大手の欧州ArcelorMittal社、韓国POSCO社、台湾China Steel社がカナダで操業中のAMMC鉄鉱石事業の一部権益を取得しました。

AMMCは、カナダケベック州東部に鉱山、鉄道、港湾、ペレット生産設備等を自社保有する一貫操業体制を有し、年間2,500万トンの鉄鉱石とペレットを安定的に生産しています。AMMCが生産する高品位の鉄鉱石は、鉄鋼業界の低炭素化に資する還元鉄の生産に不可欠な原料です。

気候変動への対応が求められる中、当社は既存の鉄鉱石事業に加え、本権益を取得することで、世界的に需要が高まる高品位鉄鉱石の安定供給体制を強化し、パートナー企業と共に鉄鋼業界の低炭素化に貢献していきます。



AMMCが操業するカナダ最大級の露天掘り鉄鉱山

出典：https://northamerica.arcelormittal.com/our-operations/arcelormittal-mines-and-infrastructure-canada



IMEA CANADA社
前列左
秋葉 浩(出向)
鉄鉱石・製鉄資源部
鉄鉱石第二課
前列右
大石 真
後列左から
國貞 桃子、山西 鉄、渡邊 浩平

2022年度レビュー(確実な成果)

$$\text{企業価値} = \frac{\text{創出価値}}{\text{資本コスト} - \text{成長率}}$$

- 鉄鋼業界の低炭素化に貢献する高品位鉄鉱石の安定供給に向け、カナダで操業中のAMMC鉄鉱石事業の一部権益を取得
- 次世代に繋がる事業基盤拡充に向け、米国Allegheny原料炭炭鉱の開発を着実に推進すると共に、豪州ではFitzroy原料炭事業の一部権益取得に関する契約を締結
- 日本初となる太陽光由来の電力を用いて製造された環境配慮型アルミニウム原料の調達・販売を実現
- ブラジルCSN Mineração社の鉄鉱山にて、デジタル化推進に寄与する、米国GE Digital社の操業・資産管理効率化システムを本格稼働

成長機会の取込み(持続的な成長)

$$\text{企業価値} = \frac{\text{創出価値}}{\text{資本コスト} - \text{成長率}}$$

- 経済活動の基盤を支え、脱炭素社会への移行に不可欠となる金属資源の権益拡充及び安定供給の実現
- 製鉄、電力会社等との強固な関係を活かし、脱炭素社会の実現に資する還元鉄等の低炭素原料、CCUS(CO₂回収・有効利用・貯留)、排出権、水素・アンモニア案件等への取組みを強化
- リサイクル及び廃棄物適正処理等、循環型社会の構築に寄与する静脈産業への取組みを着実に推進
- EV/FCV、蓄電池、軽量化によるエネルギー効率の向上等、社会構造の変化に応じたビジネスの展開

リスクへの対応(資本コストの低減)

$$\text{企業価値} = \frac{\text{創出価値}}{\text{資本コスト} - \text{成長率}}$$

- 一般炭権益からの完全撤退に向けた取組み及びGHG排出量削減に寄与する技術開発の推進
- 自動車軽量化・EV化に関連するビジネス(アルミニウム・レアメタル等)の取組強化
- 原料・燃料の安定供給の基盤となる優良資産の拡充
- EHS(環境・衛生・労働安全)ガイドラインの運用及び社員教育の徹底、並びに地域社会に対する医療・教育・寄付の提供及び地域インフラ整備等への貢献
- DXを活用した鉱山操業・設備管理や鉱山機材の自動運転化等を通じた効率化の推進

サステナビリティアクションプランに対応する項目に、該当するマテリアリティのマークを付しています。

アクションプランの詳細は、当社ウェブサイトをご参照ください。 <https://www.itochu.co.jp/ja/csr/itochu/actionplan/>

- 技術革新による商いの進化
- 気候変動への取組み(脱炭素社会への寄与)
- 働きがいのある職場環境の整備
- 人権の尊重・配慮
- 健康で豊かな生活への貢献
- 安定的な調達・供給
- 確固たるガバナンス体制の堅持